

はーと・シップ

「はーと・シップ」はハートフルシティとパートナー・シップを
合わせて小野市の男女共同参画を表す愛称としています。

特集 講座報告 誰にでもできる編集講座

はーと・シップチェック

～結婚編～

あなたの「結婚観」は
どうですか？



- *家の跡継ぎは必要だと思う。
- *親とは同居した方がいい。
- *妻が姓を変えるのは当然だ。
- *結婚したら女性は仕事を辞めた方がいい。
- *結婚したら男性が家族を養うべきだ。
- *家事・育児は女性がするべきだ。
- *夫の親の介護は妻の役目。
- *自分の生活パターンをくずしたくない。

YES	NO
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

多様化する社会の中、個々の価値観は様々です。結婚にも色々なカタチがあり、またあってもいいのだと思います。「こうあるべきだ」と固く考えなくてもいいですよ。
「YES」が多かった方は、もう一度考えてみませんか？

エクラ・ハートフル・パーティーで交流の輪広がる 平成19年12月23日(日)開催

“出逢いの場の提供”というシンプルなコンセプトのもと、今回で2回目となるこのイベントは、市民からの要望があり、少子化対策の一環として企画しました。

“少子化”に進む現代、そこに至る原因は様々ですが、若者の晩婚化・生涯独身化も要因のひとつと言われています。「結婚する・しない」は自由に選択できますが、「チャンスがない」「固定観念にとらわれて踏み出せない」というのであれば、その垣根を飛び越えるお手伝いがしたい…そんな思いもあって開催しています。

当日は、クリスマスソングが流れ、ツリーが飾られた会場に36名の方が参加されました。最初の自己紹介を兼ねたゲームでは、皆さん緊張されていたようですが、徐々に緊張もほぐれ、和やかな雰囲気になりました。そんな中、1組のカップルが生まれ、この日からお互いを知るお付き合いが始まることでしょう。パーティー終了後は、同日エクラホールで開催された「ガル・コンサート」に多数の方が参加され、その後も“お友達カード”を交換するなど、それぞれの楽しい交流の輪が広がったようです。

ご参加くださった皆さんありがとうございました。



誰にでもできる編集講座

平成19年9月26日～10月17日 (全4回)

講師：木原明美さん(とまとPRESS代表)

講座の中で出来上がった作品より

それぞれのワーク・ライフ・バランスとは？

仕事をしていない主婦にだってワークライフ バランスはあるはず！
バランスを重視するだけで生活が変わるかも！？
あなたのワークライフ バランスを探してみませんか？



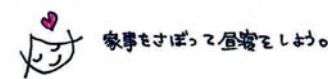
こうしてグラフにしてみると
私の中は、ほぼ家族の専ら一杯です。
もっと時間が自由になったら、



ほど平気がたくさん (へへ) 子供が小さいので身動きが取りにくいのです。

But 出来る事から始めてみよう！

生活を楽しむヒントは生活の中にあり！
割り合いは少なくとも癒しの時間から得るものは



「とまとPRESS」の活動

平成10年発足。当初は地域情報誌「ミニとまと通信」を発行。明石海峡まつり記念誌「明石いといこみつけた」エコッキングをメインに「おいしくリサイクル」増刊号「子どもといっしょ」などを発行。現在は、あかし男女共同参画センター図書情報誌「Dog Ear」企画編集を行っている。

就業支援・再チャレンジの一環として、情報誌の編集講座を開催しました。

とまとPRESS代表として、また「情報誌づくり」「男女共同参画」をテーマに、講師活動もされている、木原明美さんをお迎えし、情報誌づくりの実践的なことから、仲間づくり・チームワークについても教えていただきました。

最終回では「わたし発信」ということで「ワーク・ライフ・バランス」をテーマに受講者が記事を書き、発表会をしました。その中で「レイアウトもかわいく、よくまとまっている」など評価が高かったのが、左記の作品です。

皆さんの作品を全て掲載できないのが残念ですが、個性の光る力作ばかりでした。

講座を終えて…

参加者より

■新しい輪が広がる

子どもを無料で預かってもらえて、子どもも私も助かりました。自分の時間がとれ、編集の勉強を楽しむことができました。作品を仕上げる中で、自分の生活を見直すこともできました。また、世代の違う方たちとも交わる機会ができたし、新しい輪が広がりました。(20代女性)

■子育てママの熱意に感動

今回この講座に参加し、子育て真っ最中の皆さんの社会参画に対する熱意に感動しました。また「ワーク・ライフ・バランス」は今後誰もが必要とするテーマだと感じました。(70代・男性)

■「ワーク・ライフ・バランス」で心が軽く

結婚・出産を経て「動けない・働けない」という経験をしました。家事や子育てに没頭させてもらえるのは幸せなことですが、少し物足りないと考えようになりました。そんな時、叔母から勧められてこの講座を受け、「ワーク・ライフ・バランス」を知り、少し心が軽くなりました。(30代・女性)

編集のことに加えて、「ワーク・ライフ・バランス」についても、勉強になったという声を多くいただきました。子育て真っ最中で、仕事をお持ちでない方が大半でしたが、自分にとっての良いバランスを考えるきっかけ、そして新たなチャレンジへ繋がっていくと嬉しいです。センターも参加者の皆さんから、前向きなパワーと元気をいただいた講座でした。

ワーク・ライフ・バランスって？

老若男女誰もが、仕事・個人の生活それぞれを、自らが希望するバランスで展開し、心豊かに人生を過ごすこと。

■新しい仲間づくり

情報誌を見る側だけだったけれど、「作る側からの視点はどんなものなのか？」と軽い気持ちで参加しました。新しい仲間もでき、ワイワイ話をする楽しさや、初めて知った「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を検討し、そして一つの作品としてカタチにすることができて、楽しかったです。(40代・女性)

■収穫のある講座

編集に今まで関わったこともなかった私ですが、本を読むことは好きでしたので「本=編集する」何か繋がるものがあるのではと思い受講してみました。全く知らなかった言葉「ワーク・ライフ・バランス」について考えることもでき、私にとって収穫のある講座でした。(40代女性)

■外に出る良いチャンス

受講した理由は、「託児(無料)」がきっかけでした。最初は挫折しそうにもなりましたが、終わってみると、自分が外に出る良いチャンスでした。「自分にとっての時間」を、ふと立ち止まって考えることができました。(30代・女性)



「男の生き方セミナー」参加者募集のお知らせ

～サードエイジ・新しいライフスタイル～

知っておきたいマネー基礎知識や、簡単にできるおいしい料理。安心で有意義な人生の黄金期を過ごすためのヒントがきっと得られます。マネー講座には、ぜひご夫婦でご参加ください!!

インフォメーション

	日時	内容	講師	場所
マネーコース	3月8日(土) 13:30~15:30	やさしいマネー講座① 「生命保険の基礎知識」	日本FP協会認定 ファイナンシャル プランナー	小野市うるおい 交流館エクラ 中会議室
	3月15日(土) 13:30~15:30	やさしいマネー講座② 「相続の基礎知識」		
料理コース	3月22日(土) 15:00~17:30	男の料理教室① 「お手軽」おつまみ	「男の料理教室」 講師 松川 正治さん	コミセンおの
	3月29日(土) 15:00~17:30	男の料理教室② 「お手軽」ランチ		

対象：マネーコース 40名 (女性の参加可)
料理コース 20名 (男性のみ)
※料理コースのみ応募多数の場合は抽選
※料理コースのみ参加費必要 600円/1回
一時保育：無 料 (要予約・定員10名・原則1歳以上小学3年生まで)
申込方法：窓口・電話・ハガキ・FAX・メールで住所・氏名・年齢・電話番号
一時保育の有無・参加希望コースをお知らせください。
締切日：2月29日(金)まで

いずれもお申し込みは、小野市男女共同参画センター事務局まで。

平成20年度「男女共同参画週間」の標語募集

～内閣府より～

6月23日～29日は「男女共同参画週間」です。内閣府では、この週間の趣旨を広く浸透させるための標語を募集しています。多くのご応募お待ちしております。

募集内容：男女共同参画をテーマにした、特に身近なところから男女共同参画を推進するような標語。

応募資格：どなたでも応募できます。
(※但し個人によるもので、作品は未発表の自作のものに限る。)

締切日：2月29日(金)まで
応募方法：官製はがき・FAX・メール1通につき1作品で、住所・氏名・年齢・性別・電話番号をご記入のうえ、下記宛先までお送りください。(※おひとり何作品でも応募可)

応募先：〒100-8914 東京都千代田区永田町1-6-1
内閣府男女共同参画局総務課「標語募集係」宛
FAX：03-3581-9566
メール：http://www.gendar.go.jp/へアクセスしてください。

詳細は内閣府男女共同参画局HP (http://www.gendar.go.jp/) をご覧ください。

川柳

席題「男と女の本音」

家事労働 週休2日にしておくれ

小野市 ベンネーム みっちゃんばあ〜

我ままも 受け止められる 夫婦の歴史

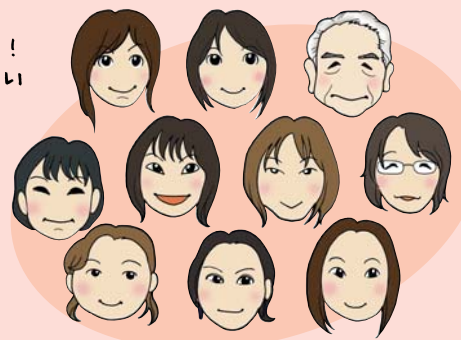
小野市 ベンネーム おおばあば

エクラ ハートフルサロン内にも、投句箱を設置!

掲載された方には小野市うるおい交流館エクラ・喫茶コーナーのモーニングチケットをプレゼント。ハガキ・ファックス・メールでの応募は事務局まで。

ハートフル パートナー

「はーとシップ」に元気いっぱい！
目をキラキラ☆させている新しい
編集委員が誕生しました！



Heartful Partner VOL.12

Q 編集委員をやってみよう！と思ったきっかけは？

- ・興味があり、みんなで何かを作るといいな～と思ひ。
- ・インターネットで募集を見て私にも何かできるかな～と
思ひて。
- ・編集講座を受講したのがきっかけで。
- ・託児付きで、自分の時間が持てるから。
- ・子育てしながらやってみたらと、家族に勧められて。
- ・外（社会）へ出るきっかけになればと思ひ。

Q 編集委員になってみてどうですか？

- ・生活にメリハリができ、刺激を貰って楽しい。
- ・自分の思っている事を言える雰囲気がある。
- ・日常考える事がなかった分野（男女共同参画）を考へる
きっかけになり、良かった。
- ・新たな自分を発見できてビックリ。
- ・夫が応援してくれる。

Q 今後の抱負は？

- ・もっと発行回数を増やして、情報発信していきたい。
- ・編集委員同士の情報発信も行っていければ。
- ・どんどん参加していきたい。
- ・沢山の方に読んで頂きたいし、自分も前向きにチャレンジ
したい。
- ・少しずつ意見を言えるように頑張りたい。
- ・みんな仲良く刺激を受けながらここに来たい。
- ・環境の事なども発信できたらな～。
- ・読者の方に意見を頂けるような、見やすい紙面を作っ
ていきたい。
- ・自分自身も心にゆとりを持って参加していきたい。
- ・自分の勉強にもなるし、もっと知りたくなる。加わっ
ていきたい。

パワフルな新メンバーは、子育て中のママ・団塊世代・仕事を持っている方とさまざま。
「はーと・シップ」は飛躍します！ご期待ください！！

無料相談窓口案内

市外の相談窓口もご利用頂けます。

実施機関	種類	所在地	電話番号	実施日時
小野市男女共同 参画センター	女性のための さまざまな相談	小野市中島町72 小野市うるおい交流館 エクラ内	電話相談 (随時) 0794-63-8250	木曜日 9:30~11:30
			面接相談 (予約制) //	木曜日 13:00~16:00
			※託児ご希望の方は、ご相談ください。	
小野市民病院	女性のための 医療専門相談	小野市中町323	面接相談 (予約制) 0794-63-2020 内線188	木曜日 13:00~16:00
小野市 ヒューマンライフグループ	いじめ相談	小野市役所内	電話相談 (随時) 0794-62-4110	月曜日~金曜日 8:30~19:00
三木市男女共同 参画センター	女性のための 相談	三木市上の丸町8-30 勤労青少年ホーム内	電話相談 (随時) 0794-89-2354	木曜日13:00~16:00 土曜日10:00~12:00
			面接相談 (予約制) 0794-89-2331	木曜日10:00~12:00 土曜日13:00~16:00
北播磨県民局	女性問題相談	加東市社字西柿 1075-2	電話 (随時) 面接 (予約制) 0795-42-5111 内線604	金曜日 9:00~17:00
兵庫県立男女 共同参画センター	男性問題相談 不妊専門相談	神戸市中央区 東川崎町1-1-3	電話相談 (随時) 078-360-8553	第3火曜日 17:00~20:00
			電話相談 (随時) 078-360-1388	第1・3・4土曜日 10:00~16:00
			※これ以外にも様々な相談をお受けしています。078-360-8550へお問い合わせください。	
兵庫県立女性家庭センター (配偶者暴力相談支援センター)	電話相談	—	電話相談 (随時) 078-732-7700	毎日 9:00~21:00

相談室から

デートDVってご存知ですか

DVは夫婦など親密な関係でおこなわれる暴力ですが、結婚している男女だけの問題ではありません。交際中の10代や20代などの若い世代でおこる暴力を「デートDV」といいます。
平成18年内閣府調査によると、20代の女性の5人に1人以上がデートDVの被害を受けたことがあります。
「友達づきあいを制限する」「メールをチェックする」などの独占欲に基づく支配は「愛」ではありません。また、男らしさは暴力を振るうことでもありません。お互いに相手を尊重し、感情を暴力ではなく言葉で伝え合える、そんな信頼できる関係を築きたいですね。

●配偶者暴力防止法が改正されました●

詳細は内閣府ホームページ
(<http://www.gendar.go.jp/>) まで

本誌に対するみなさまの率直なご意見やご感想をお聞かせください。
ハガキ、ファックス、Eメールで受付しています。

- 企画・編集 はーと・シップ編集委員会
(ボランティアが集まって作っています。)
- 発行 小野市

事務局 小野市男女共同参画センター (NPO法人 北播磨市民活動支援センター)
〒675-1366 兵庫県小野市中島町72番地 小野市うるおい交流館エクラ
TEL 0794-63-8156 FAX 0794-62-2400
URL <http://www.ksks-arche.jp/danjo/> E-mail: danjo@ksks-arche.jp